



職場体験を経ての意識の変化

平成17年に、庄原市中学校キャリア教育推進委員会が行った意識調査によると、職場体験を行う前と行った後では、生徒の意識に変化が見られます。

■生徒の意識調査より

	事前	事後
家族が自分のことを分かってくれている 「はい」と回答	75%	85%
自分には良いところがある 「はい」と回答	65%	75%
学級の中で自分の夢が語れる 「はい」と回答	40%	75%

■職場体験アンケートより

「あなたが職業を選ぶとき、何を重視して選ぶようになりますか」

	事前	事後
●自分の能力が生かせる	30%	45%
●自分の性格や興味に合っている	40%	45%
●仕事にやりがいがある	25%	40%
●収入、給料が高い	50%	40%

生徒の声

衣料品店の体験者

職場の方の仕事ぶりを拝見し、笑顔で挨拶されているところを見習いたいと思いました。職場体験に行く前は、挨拶なんて楽だろうと思っていました。しかし、やってみるととても難しく、笑顔で言わなければならないことが大変でした。

職場体験で学んだことは、これからの生活の中で活かしていきたいと思います。

食料品店の体験者

今回の職場体験を通して一番大切だと感じたことは、やはり挨拶をすることです。お店では人と接することが多いので、強く感じました。職場の方にも、挨拶を忘れず、きつく注意されました。これからは、学校でも自分から挨拶をするように心がけます。

美容院の体験者

職場体験学習を通して私が感じたことは、仕事はとても大変だということです。楽ではないことが分かって、大人はがんばっているんだと思いました。言葉遣いも気をつけたいいけないので、働いて本当によいことなんだと思いました。

保護者の声

家庭では経験できないことをたくさん経験し、本人も何か感じたと思います。家庭では見つけれなかった自分の一面を本人が見つけたようです。事業所の方には大変お世話になりました。ありがとうございました。

事業者の声

衣料品店

店内でのきれいな仕事の裏には、表には見えないつらい作業があることを経験していただきました。しかし、前向きな生徒さんと一緒に仕事できたことは、私たち社員にも良い経験になりました。

生徒さんが心から体験を望んでいれば、受け入れる側も負担にならないものだと感じました。

食料品店

とてもよい体験学習だと感じています。この時期に体験しながら学ぶということは大きな意義があります。しっかり吸収していただき、感性を磨き、社会の中で生きる力を高めてほしいと思います。これからも積極的に取り組んでいただき、人間力の向上を願っています。

サービス業

生徒さんには、挨拶の徹底を指導したが、日常的にできるよう期待したい。今回3人を受け入れましたが、体を使う作業ではグラリとした面も見受けられました。粘りがほしい。希望してきた職場であれば、もう少しやる気を出すことや、心をこめた対応もできたと感じます。

今、子どもたちは、将来に向けて、なぜ学ぶ必要があるのか、なぜ学び続けなければならないのか、何のために学校で学ぶのかなど、学ぶことへの関心や意欲が低下しているといわれています。

こうした課題の背景として、子どもたちの生活の中で、テレビゲームやメールなどの「疑似体験」・「間接体験」が多くなる一方、社会体験や自然体験などの「直接体験」が著しく不足していることが大きく影響

している指摘されています。子どもたちが、児童生徒から社会人へと成長していく過程で、自分自身の将来に夢や希望を抱き、夢の実現を目指す意欲を高めるための教育活動として、「望ましい勤労観・職業観を育む『職場』体験活動」が求められています。



なぜ職場体験が求められるのか



りんご園で摘果作業

働くことへの意欲・関心を高める中学校職場体験学習

教育指導課教育指導係 ☎0824-73-1184

変化の激しい社会の中で、子どもたちが社会人・職業人として自立するために必要な、意欲や態度、能力を身につけるため、庄原市内の中学校では5日間の職場体験を実施しています。

今年も市内の事業所のご協力を得て、中学生がさまざまな経験を積んでいます。

学校名	実施日	受け入れ事業所数
庄原中学校	6月19日～6月23日	91
西城中学校	9月25日～9月29日	依頼中
小奴可中学校	※5月31日～6月2日	7
東城中学校	6月19日～6月23日	32
口和中学校	※7月12日～7月13日	7
高野中学校	※6月14日～6月16日	10
比和中学校	※6月21日～6月23日	5
総領中学校	8月3日～8月9日	13

※印の4校は1、2学期に分割して実施

